

議会だより特別版アンケート モニター意見要旨

問1 表紙写真について

- ①「智頭の思い出シリーズ」を継続する …………… (7)
- ②定例会での審議内容に関連した「今」を伝える写真にする …… (3)
- ③新たな「シリーズ」を始める(広報委員案:「智頭の木と人」) … (1)
- ④議会広報委員に一任する …………… (3)
- ⑤その他 …………… (5)

【ご意見】

①「智頭の思い出シリーズ」を継続する

- ・ただ昔を懐かしむ写真だけでなく、昔の姿と今を比較し、「変えないで続けることがいいね」あるいは「時代とともに変えた方がいいね」と写真を見て次の町の姿について話が弾むようなものにした方がいいと思う。
- ・少しずつ「今」に近づけていってはどうか。

②定例会での審議内容に関連した「今」を伝える写真にする

- ・今で言えば、図書館であったり指定管理であったり、「議会NOW」の視点を。

③新たな「シリーズ」を始める(広報委員案:「智頭の木と人」)

- ・広報委員の案はいいと思う。号によって歴史的な写真や比較なども効果的だと思うし、智頭らしいのではないか。

④議会広報委員に一任する

- ・今も思い出も大切にしたいと思う。どちらかは選べないが、今を知りたい人の方が多いのかと思う。
- ・思い出シリーズを中止した場合、年配の方の中には寂しさを感じる方も思うと思うが、中ページや裏表紙などで掲載できると思う。
古写真の中には、現在と異なる地形などがわかり、災害時の危険把握などにつながるものもあると思う。表紙としての扱いはアートだが、盛土地形の崩落、埋立地による液状化など、古写真を使い地域の高齢者と過去の災害について話す機会があったかもしれず、意味のあったものと思う。また、古写真の中には著作権の切れたものも多くあると思われるため、誰でも利用できる形で公開するよう、議会としてもオープンデータ化を推進してもらいたい。

⑤その他

- ・SDGs、森林景観など、町の進める施策の応援写真もいいと思う。
- ・「思い出シリーズ」と「今」とを交互または同時に掲載してはどうか。

- ・発行時の話題など、自由でいいと思う。
- ・智頭にちなんだ文化的なもの。未来の町を担う子ども達の今（小・中・高）、スポーツ、絵画、イベント等の様子。
- ・できれば変えることも必要かと思うが、広報ちづと一緒にになりそうな気がする。

問2 紙面の内容について

- ・月1回でも、各地区公民館などで出前相談会をされてはどうか。（月2回行政相談をしているが、議員がされると相談があるかもしれない。）
- ・各議員が今、どのような活動に力を入れているのか、記事で紹介してもらいたい。
- ・意見箱を設置してはどうか。
- ・紙面の内容は今のままでいいと思う。
- ・議会報告会は参加者が少なく、効果も少ないと思うので、議会だよりにアンケート項目を設け、住民の意見を聞いてはどうか。
- ・紙面を作り出すことに、大変な苦労もあると思う。伝えたいことが16ページで収まりきらなかった部分を号外で出してもいいのではと思うことがある。
- ・議員の日記のようなことが書かれればいいと思う。それは全員ができなければならないと思う。
- ・住民にとって関心の高いのが陳情なので、採択された案件を時系列で紹介するコーナーがあるといいと思う。
- ・町民の声はよく読まれていると思うので、それに関連する議会活動・過去の採択案件も紹介してはどうか。

例えば、今回であれば、＜現状＞富沢地区のひなたぼっこが継続、町民が喜んでい
る → 議会が採択や新規設置に動いた条例など、地区振興協議会の設置・継続（補助金）。移住者紹介 → 移住者関連の案件。町民の声として道路についての話 → 地域
の声を陳情、採択された年度の紹介、など。

- ・議事録検索システムを導入し、全国横断検索が可能になることで、広報紙の内容と全国的な動きが見える化・可視化されるほか、広報紙の制作過程を動画にするなど、新たな情報発信も必要かと感じた。可視化より、見える化の議会広報紙になってもらいたい。（可視化＝見えているだけ。見える化＝次の過程がわかる見え方）